

# 記述問題（理系）出題意図

岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム

試験の種別 2025年度総合型選抜（ディスカバリー入試） 【記述問題（理系）】

SDGsにおける17の目標	4. 質の高い教育をみんなに 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう 13. 気候変動に具体的な対策を
<p>エネルギーや気候なども含む環境問題に取り組み、高度な科学教育を学修するために必要な理科や数学に関する基礎的な知識、それを理解し活用する能力を有するかを尋ねる設問となっている。</p> <p>数学系はデータサイエンスの基礎となる確率、自然界の理解に欠かせない三角関数、基礎的な数学的理解を確認するため方程式などの問題を出題した。[4, 9]</p> <p>物理系は、力学、電気、熱力学などの基礎的な設問である。どの設問も、エネルギー保存則やエネルギーの転換などの理解が重要である。力学における摩擦の影響、熱力学における気体の仕事などの考えは、省エネルギーやエネルギー発生を理解には不可欠な分野である。[7, 9]</p> <p>化学系はイオンの分離や浸透圧に関連した問題である。環境、特に水資源とその含有物などに関する知識は重要である。化学が身の回りの環境を理解する上で広く利用されることを理解して欲しい。[7, 9]</p> <p>生物系はバイオームと遺伝に関する設問とした。特にバイオームでは、地球温暖化に関する内容を直接尋ねることにより、環境問題への理解を求めている。[4, 13]</p>	